CORNING

News Release

リリース日 – 2025 年 4 月 29 日

コーニング、堅調な 2025 年第 1 四半期業績(1)を発表、「スプリングボード」計画達成への自信を改めて表明

第 1 四半期業績は予想を上回る—コア売上高は前年同期比 13%増の 37 億 US ドル、コア一株利益は同 42%増の 0.54US ドル。コア営業利益率は同 250 ベーシスポイント（2.5%）増加の 18%。

エンタープライズ事業の売上高は、生成 AI 向け新製品需要が引き続き好調で 106%増、2023～2027 年売上高年間成長率（CAGR）30%達成に向けて大きく前進

米国製太陽光製品の需要増に応えるべく、国内先進製造工場の生産強化を加速

経営陣は第 2 四半期も前年同期を上回る成長を見込む—コア売上高は約 38 億 5,000 万 US ドル、コア一株利益は 0.55～0.59US ドルと再び売上高を大幅に上回るペースの成長と予想

(1) 第 *1* 四半期 *GAAP* 業績：売上高 *34* 億 *5,000* 万 *US* ドル、一株利益 *0.18US* ドル、営業利益率 *12.9*%第 *1* 四半期コア業績：売上高 *37* 億 *US* ドル、一株利益 *0.54US* ドル、営業利益率 *18*%

コーニングインコーポレイティッド(NYSE: GLW)は本日、2025 年第 1 四半期業績および 2025 年第 2 四半期の見通しを発表しました。

ウェンデル P. ウィークス、会長兼 CEO は次のように述べています。「本日、予想を上回る結果となった第 1 四半期業績を発表しました。コア売上高は前年同期比 13%増、コア一株利益は売上高の 3 倍のペースで成長を遂げました。オプティカルコミュニケーション部門では、生成 AI 向け新製品の需要が引き続き堅調だったことから、エンタープライズ事業の売上高は前年同期比 106%増となりました。

ウィークスは続けて、次のように述べています。「『スプリングボード』計画を達成できるという自信に変わりはありません。コーニングの成長は、現在進行中の強力かつ長期的な趨勢に支えられています。したがって、流動的な外部環境にあっても、我々はこの勢いを維持することが可能なポジションにあると言えるでしょう。例えば、当社の生成 AI データセンター向けイノベーションと米国製太陽光製品に対する顧客の反応はいずれも目覚ましいものがあり、目下、生産体制の強化を加速中です。」

© 2025 Corning Incorporated. All Rights Reserved.

エグゼクティブバイスプレジデント兼 CFO のエド・シュレジンジャーは次のように述べています。「第 1 四半期は、引き続き収益プロファイルの改善が見られました。前年同期比で、コア売上高は 13%増、コア一株利益は 42%増、営業利益率は 250 ベーシスポイント（2.5%）、コア投資資本利益率（ROIC）は 300 ベーシスポイント(3%)となり、力強い勢いを示しています。第 2 四半期については、コア売上高は約 38.5 億 US ドル、コア一株利益は 0.55～0.59US ドルと再び売上高を上回るペースで成長すると予想しています。当社の予想には、現在制定されている関税の影響として 0.01～0.02US ドル程度を織り込んでいます。また、生成 AI および太陽光製品に対する需要増への対応強化を図る中で、一時的に 0.03US ドルのコスト増も織り込んでいます。

2025 年第 1 四半期ハイライト：

- GAAP 売上高は 34 億 5,000 万 US ドル。コア売上高は 36 億 8,000 万 US ドル。
- GAAP 一株利益は 0.18US ドル。コア一株利益は 0.54US ドル。GAAP 一株利益とコア一株利益の差は、主に為替換算調整契約および円建て債務に関連するノンキャッシュ時価評価調整、為替変動の影響調整を反映。
- GAAP 粗利益率は 35.2%。コア粗利益率は 37.9%。それぞれ前年同期比 180 ベーシスポイント(1.8%)および 110 ベーシスポイント(1.1%)の改善。

2025 年第 2 四半期見通し：

- 第 2 四半期について、経営陣はコア売上高を約 38 億 5,000 万 US ドル、コア一株利益は 0.55～0.59US ドルと再び売上高を大幅に上回るペースの成長を達成すると予想しています。また、当社予想には、現在制定されている関税に対して 0.01～0.02US ドル程度を織り込んでいます。また、生成 AI および太陽光製品への需要増に対する生産強化を図る中で、一時的に 0.03US ドルのコスト増も織り込んでいます。

第 1 四半期業績および比較

(単位は百万 US ドル。ただし一株利益の金額を除く。)

業績（GAAP）

	Q1 2025	Q4 2024	Q1 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	$3,452	$3,501	$2,975	(1%)	16%
純利益[1]	$157	$310	$209	(49%)	(25%)
希薄化後 一株利益	$0.18	$0.36	$0.24	(50%)	(25%)

© 2025 Corning Incorporated. All Rights Reserved.

(1) コーニングインコーポレイティッドに帰属する *GAAP* 純利益

コア業績（Non-GAAP）(1)

	Q1 2025	Q4 2024	Q1 2024	前四半期比	前年同期比
コア売上高	$3,679	$3,874	$3,258	(5%)	13%
コア純利益	$467	$497	$330	(6%)	42%
コア一株利益	$0.54	$0.57	$0.38	(5%)	42%

(1) Non-GAAP による数値。*GAAP* による数値と *Non-GAAP* による数値の調整については、このニュースリリースに続く表や当社ウェブサイトでご覧いただけます。

© 2025 Corning Incorporated. All Rights Reserved.

2025 年第 1 四半期の部門別業績

（単位：100 万 US ドル）

以下の第 *1* 四半期業績は、コーニングの連結財務諸表に記載されている部門別報告に基づいて作成しています。

オプティカルコミュニケーション部門:

	Q1 2025	Q4 2024	Q1 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	$1,355	$1,368	$930	(1%)	46%
純利益	$201	$194	$100	4%	101%

オプティカルコミュニケーション部門の第 1 四半期売上高は、前年同期比 46%増の 13 億 6,000 万 US ドルでした。これは主に、エンタープライズ事業において当社生成 AI 新製品の採用が引き続き堅調に推移（106%増）したことによるものです。第 1 四半期純利益は、販売数の増加による堅調な増益により、前年同期比 101%増の 2 億 100 万 US ドルでした。

ディスプレイ

	Q1 2025	Q4 2024	Q1 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	$905	$971	$872	(7%)	4%
純利益	$243	$262	$201	(7%)	21%

ディスプレイ部門の第 1 四半期売上高は、販売数の増加と製品値上げにより、前年同期比 4%増の 9 億 500 万 US ドルでした。純利益は 2 億 4,300 万 US ドルでした。コーニングは第 1 四半期より、新たなヘッジ手段のレートに合わせるために、為替変動の影響を除いた日本円レートを 107 円から 120 円に変更しました。なお、前年の業績については再計算せず、107 円のままとしています。

スペシャリティマテリアルズ部門:

	Q1 2025	Q4 2024	Q1 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	$501	$515	$454	(3%)	10%
純利益	$74	$81	$44	(9%)	68%

© 2025 Corning Incorporated. All Rights Reserved.

スペシャリティマテリアルズ部門の第 1 四半期売上高は、前年同期比 10%増の 5 億 100 万 US ドルとなりました。これは、モバイルデバイス用高付加価値製品の需要が引き続き堅調に推移したことによるものです。純利益は、同 68%増の 7,400 万 US ドルでした。

オートモーティブ

	Q1 2025	Q4 2024	Q1 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	$440	$446	$491	(1%)	(10%)
純利益	$68	$61	$78	11%	(13%)

オートモーティブ部門の第 1 四半期売上高は 4 億 4,000 万 US ドル、純利益は 6,800 万 US ドルで、いずれも前四半期並みとなりました。これは主に、欧州および北米の普通車・大型車市場が引き続き軟調に推移したことによるものです。2025 年 1 月 1 日より、オートモーティブガラスソリューション事業をヘムロックおよび新規成長事業部門から新設したオートモーティブ部門に移管し、従来のエンバイロンメンタルテクノロジー事業と合わせて同部門で管理しています。以前の業績は、比較のために再計算されています。

ライフサイエンス部門:

	Q1 2025	Q4 2024	Q1 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	$234	$250	$236	(6%)	(1%)
純利益	$13	$18	$13	(28%)	—%

ライフサイエンス部門の第 1 四半期売上高は、前年同期比 1%減の 2 億 3,400 万 US ドルとなりました。純利益は 1,300 万 US ドルでした。

ヘムロックおよび新規成長事業部門

	Q1 2025	Q4 2024	Q1 2024	前四半期比	前年同期比
純売上高	$244	$324	$275	(25%)	(11%)
純利益（損失）	($16)	$10	$17	*	*

*非適用

© 2025 Corning Incorporated. All Rights Reserved.

ヘムロックおよび新規成長事業部門の第 1 四半期売上高は、通常の季節的要因により、2 億 4,400 万 US ドルでした。2025 年 1 月 1 日より、オートモーティブガラスソリューション事業をヘムロックおよび新規成長事業部門から新設したオートモーティブ部門に移管し、従来のエンバイロンメンタルテクノロジー事業と合わせて同部門で管理しています。以前の業績は、比較のために再計算されています。

今後の説明会について

5 月 14 日、コーニングは第 53 回 J.P. モルガングローバルテクノロジー・メディア・コミュニケーション年次カンファレンスに参加します。また、当社経営陣が一部都市の投資家オフィスを訪問予定です。最新情報については、当社ウェブサイトの「Investor Relations」ページをご覧ください。

第 1 四半期のカンファレンスコールについて

コーニングは 4 月 29 日（火）の午前 8 時 30 分（東部夏時間）より、第 1 四半期のカンファレンスコールを開催します。ご参加の場合、コール開始前にこちらから事前登録いただけます。必要事項をすべてご入力の上、「Register」をクリックしてください。電話番号および PIN コードが自動生成され、画面にポップアップ表示されます。「Dial In」またはシステムによる「Call Me」機能を選択できます。また、ダイヤルインに関する情報を記載した確認メールをお送りします。ライブオーディオウェブキャストをお聴きになるには、コーニングの「Investor Relations」イベントページをご覧いただき、指示に従ってください。

本プレスリリースの情報の表示について

本ニュースリリースには、Non-GAAP 財務指標が含まれます。Non-GAAP 財務指標は、GAAP に準拠するものではなく、GAAP に代わるものでもありません。コーニングの Non-GAAP 財務指標は、一般的な経済状況や企業活動において基本となるファンダメンタルズやトレンドを反映していないイベントを原因とする事項の影響を排除しています。コーニングは、Non-GAAP 財務指標を開示することにより、当社の基本的な業績トレンドが見えづらくなる事項の影響を除いた上で、財務成績の分析を行うことが可能になると考えています。これらの Non-GAAP 財務指標の定義および、直接比較可能な GAAP 財務指標との調整については、当社ウェブサイトでご確認いただけます。「Investor Relations」ページにアクセスいただき、「Financials and Filings」タブ内の「Quarterly" Results」をクリックしてください。これらの調整は、本ニュースリリースにも適用されています。

将来見通しに関しては、当社経営陣が外国通貨の対米ドル為替レート動向やその他当社の経常的業務を反映しない事項、未発生の事項、経営陣が抑制できない事項について予測することはできないため、これらの Non-GAAP 基準について調整結果を提示することはできません。そのため、経営陣は GAAP ベースの見通し情報についても提示することはできません。

将来の見通しに関する注意点

本リリースおよびマネージメントのコメントにおいて、過去の事実または情報ではない記述や、「will （～になる）」、「believe（～と考えている）」、「anticipate（～と予測する）」、「expect（～と予想している）」「intend（～する意向である）」「plan（～を計画している）」、「seek（～を試みる）」、「see（～と見込んでいる）」、「would

© 2025 Corning Incorporated. All Rights Reserved.

（～だろう）」、「target（目標とする）」「estimate（～と見込む）」「forecast（～と予想する）」またはその他類似の表現を含む記述はすべて「将来の見通しに関する記述」です。こうした記述は、1995 年米国民事訴訟改革法の「セーフハーバー」規定に沿ったものであり、経済、競合、法制度の変化に関連する予測や想定が含まれます。また、程度の差はあれ、本質的には不確実である将来の事象に関する記述となります。これらの将来の見通しに関する記述は、とりわけ、当社「スプリングボード」計画（追加）、将来の業績、新規および既存市場における当社のシェア、当社の収益および利益成長率、技術革新および新製品の商商品化に関するする当社の能力、当社の予想される設備投資、および当社のコスト削減施策・価格設定改善策の実施（製造能力の最適化を含む）に関連しています。

当社は、これらの将来の見通しに関する記述について、とりわけ、現在の見通し・予測、一般的な経済状況、当社の事業に関する知識、および当社に影響を与える主要業績評価指標に関する合理的な仮定に基づいていると考えていますが、実際の結果は大きく異なる可能性があるため、これらの将来の見通しに関する記述が正確であることを証明する保証はありません。当社は、適用される証券取引法で義務付けられている場合を除き、状況または経営陣の見積もりや見解が変更された場合でも、将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

将来の見通しに関する記述で明示的ないし暗示的に表明した予想と、実際の結果との大きな乖離の原因となり得るリスク、不確実性その他要因には次のようなものがありますが、これらに限るものではありません。世界経済の動向、競争リスク、地政学的リスク、米国とその他の国との間の制裁、関税、その他の貿易摩擦の激化、当社事業のグローバルサプライチェーンおよび戦略に対する関連する影響、または、健康危機、インフレ、金利、有価証券およびその他の金融資産の価値、貴金属、石油、天然ガス、原材料、その他の商品価格に起因する動向および変動を含む、マクロ経済および市場状況の変化および市場のボラティリティ、為替レート(特に米ドルと日本円、新台湾ドル、ユーロ、中国元、韓国ウォン)、政府のインセンティブの利用可能性、消費者需要の減少または急激な増加、ならびにそのような変化と変動が当社の財政状態と事業に与える影響。エピデミックやパンデミックなどの健康危機事象の期間および深刻度、ならびに需要、人員、事業、グローバルサプライチェーン、株価に対する当社の事業全体への影響。テロ活動、サイバー攻撃、武力紛争、政治的または金融的不安定性、自然災害、国際貿易紛争、または重大な健康上の懸念により、商業活動またはサプライチェーンが混乱する可能性。盗難、サイバー攻撃、または情報技術インフラの中断による知的財産の損失。特許を行使し、知的財産と企業秘密を保護する能力。コーニング、当社のサプライヤーおよびメーカーのサプライチェーン、設備、施設、IT システムまたは業務の混乱。製品需要および業界の供給能力。競争力のある製品と価格設定。重要なコンポーネント、材料、設備、天然資源、ユーティリティの可用性とコスト。新製品の開発と商品化。主要顧客からの注文活動と需要。計画レベルでの四半期配当の支払いまたは計画レベルでの株式の買い戻しの能力に影響を与える可能性のある、当社のキャッシュフローと利益の額と時期、および、その他の条件。将来の配当の額と時期。買収、処分、その他の類似取引の影響。規制及び法整備の影響。予想される顧客の需要レベルに合わせて設備投資を調整する能力。製造能力の最適化、業務変更、価格設定、コスト削減策の実施を通じて収益と利益率を向上させる能力。技術変化の速度。不利な訴訟。製品およびコンポーネントの性能問題。重要な人材の確保。収益性の高い事業を維持し、継続的な事業や製造の拡張に必要な資金調達力。

© 2025 Corning Incorporated. All Rights Reserved.

債権を期日までに支払う顧客の能力。重要顧客の損失。税、規制、国際課税基準の変更。税務当局による監査の影響。訴訟、政府規制、その他の政府措置や調査の潜在的な影響。その他、コーニングの SEC 提出書類に詳述されているリスク。
これらの諸リスクその他要因の一覧については、Form 10-K の年次報告書および Form 10-Q の四半期報告書に記載されたリスク要因と将来の見通しに関する記述を参照ください。

ウェブによる情報開示について

コーニングインコーポレイティッド（以下「コーニング」）は、重要情報の開示にあたり、企業ウェブサイトおよびソーシャルメディアチャンネルに関する米国証券取引委員会（SEC）のガイダンスに基づき、投資家、メディアおよびその他利害関係者の皆様に対して、当社ウェブサイト(https://www.corning.com/worldwide/en/about-us/news-events.html)上で、投資家にとって重大とみなされ得る情報など当社に関する重要情報につき、本プレスリリースまたは他のプレスリリースの補足情報を公表します。当社が用いるウェブサイトおよびソーシャルメディアのリストは、当社メディアおよびウェブサイト上で随時更新される場合があります。投資家、メディアおよびその他利害関係者の皆様におかれましては、SEC への提出書類、プレスリリース、カンファレンスコール、ウェブキャストに加え、上記ウェブサイトおよびソーシャルメディアチャンネルを通じた発表情報をご確認いただきますようお願いします。

コーニングについて

コーニング(www.corning.com)は、材料科学における世界有数のリーディングイノベーターとして、創業以来 170 年にわたり、人々の暮らしを変える発明を重ねてきました。ガラス科学、セラミックス科学、光学物性に関する圧倒的な専門知識と、強力な製造・エンジニアリング能力を武器に、産業に変革をもたらし人々の暮らし向上につながるような、様々な定番製品を開発してきました。研究開発およびエンジニアリングへの継続的投資、革新的な材料およびプロセスの独自の組み合わせ、そして各業界で世界をリードするお客様との深い信頼に基づく協力関係により、大きな成果をあげてきました。コーニングの能力は幅広く応用可能で相乗的な効果を発揮します。こうした能力を武器に、絶え間ない市場ニーズの変化に応えるべく進化し、変動の激しい業界において、お客様の新たなビジネス機会の創出をサポートしています。当社は現在、オプティカルコミュニケーション、モバイルコンシューマーエレクトロニクス、ディスプレイ、オートモーティブ、太陽光、半導体、ライフサイエンスの各市場で事業を展開しています。

メディア問合せ　米国：
Gabrielle Bailey
(607) 684-4557
baileygr@corning.com

メディア問合せ　日本：
大川 真由
03-5562-2260
okawam@corning.com

© 2025 Corning Incorporated. All Rights Reserved.

Investor Relations Contact:
Ann H.S. Nicholson
(607) 974-6716
nicholsoas@corning.com

© 2025 Corning Incorporated. All Rights Reserved.